

大阪労働局働き方改革推進本部 企業訪問記

訪問年月日 平成 28 月 11 月 30 日

訪問企業名	新日鐵住金株式会社製鋼所
事業内容	鉄道車両品、自動車・建設機械品、産業機械品の製造・組立

当日は、大阪労働局長より、

大阪における働き方に関わる諸情勢を踏まえ、製造業における今後の働き方の見直しの必要性について説明し、特に女性の積極登用や、多彩な働き方についての取組を進めて頂くように宮原製鋼所長に要請しました。

宮原製鋼所長 からは、

- 鉄鋼製造現場での女性従業員は少なかったが、2010 年より女性採用拡大に向けての取組を本格化し、近年は製造現場で働く女性従業員もかなり増えてきている
- 長時間労働抑制のために、従業員の多能工化を通じて同工場内のライン間や工場間での柔軟な応援体制を可能とし、過重労働の防止を図る体制を構築している
- 有給休暇の取得奨励日やノー会議デーの設定、また事前計画に基づく進捗状況の管理などにより、有給休暇取得率は年間付与日数の 7 割程度に達している
- 製造ラインにおける自動化・システム化を進め、性別・年齢・障がいの有無に関わらず従業員が生き活きと勤務できるような体制づくりを引き続き進めていく

とのお話がありました。

